

確認・設定を行う

配線を確認する

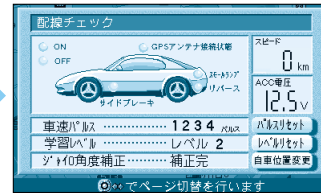


メニュー画面 (情報) から



取付チェック を選び **実行** を押す。

ジョイスティックを左右に動かし、ページを切り替える。



戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

配線チェック画面

ON表示を確認してください

スモールランプを点灯する。
サイドブレーキを引く。
停車時サイドブレーキを引いた状態でギアをR(リバース)レンジに入れる。
GPSアンテナが接続されている。

拡張ユニット画面

ON表示を確認してください

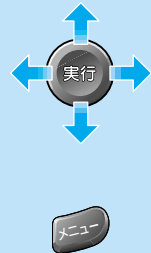
別売のビーコンユニットを接続する。

- スピード : 自車の速度を表示
- ACC電圧 : 12V(11~16V)を表示
- 車速パルス : 車速を表示
- 学習レベル : 下記参照
- ジャイロ角度補正 : 取付角度の補正状態を表示
- 自車位置変更 : 自車マークの位置、向きを修正する。



配線確認時、表示が変化しない時は配線を確認してください。
画面上での確認は、停車して行ってください。走行中は行わないでください。

距離補正を確認する (必ず行ってください)

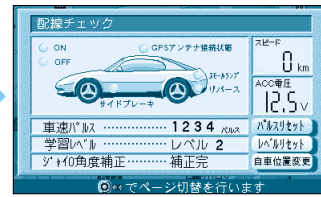


本機を正しく作動させるため、取り付け後学習レベルをリセットする。
現在地画面でしばらく走行する(30分程度)を行ってください。

メニュー画面 (情報) から



取付チェック を選び **実行** を押す。



ジョイスティック上下で **レベルリセット** を選び **実行** を押す。

戻る を押すとメニュー画面に戻ります。

全自動距離補正システムについて

本機は車から出力される車速パルスに一定の係数(以下距離係数と呼びます)をかけて距離を算出しています。
車からの車速パルスは車種ごとに異なるうえ、同じ車でもタイヤの空気圧や磨耗程度によって距離係数は変化します。

本機では車ごとに異なる距離係数の設定や補正をGPSのデータを用いて自動的に行います。

学習レベルとは

距離補正の精度を表します。学習レベル3が最も誤差の少ない状態です。
本機の内部コンピューターで、取り付けた車に距離係数等をあわせる初期設定を自動的に行っています。しばらく(30分程度)走行すると次第にズレはなくなり、継続的に精度を高めて行きます。



オープニング画面が終了するまでは発進させないでください。
平均時速20km以上で見通しの良い場所を走行してください。
本機はGPSデータを使って距離係数の補正を行います。GPSを受信していることを確認してください。



市街地・GPS信号を受信しにくいコースでは、学習内容に誤差が出ることがあります。
車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

次の場合はレベルリセットが必要です。
車のタイヤを交換した。
タイヤをローテーションさせた。
ナビゲーション本体を別の車に載せ替えた。